吾亦紅(われもこう)を草むらで見つけた　野趣に富んだ　秋の花

Glory

グローリー

2024
11月号 207
宝塚栄光教会

我なり、恐るな

新約聖書の福音書の中にこういう記事があります。弟子たちが船に乗って湖の向こう岸に行こうとした時、途中で風向きが変わり、嵐になって船が立ち往生しました。湖は大しけになり、高波が押し寄せ、船に水が打ち込んできて、大変危険な状態です。弟子たちは恐れました。

ふと見ると、誰かが湖の上を歩いて近づいて来るではありませんか。彼らは“幽霊だ”と言ってますますおびえました。するとその人はこう言ったのです。「しっかりしなさい。わたしだ。恐れることはない」(マタイの福音書14章27節)と。

その人とは、まぎれもなくイエス様でした。彼らがイエス様を船に迎え入れると、あれほど荒れ狂っていた嵐はやみ、もとの静かな湖になりました。弟子たちは改めて、この方は本当に神の子だと信じました。

さて、私たちの人生も、順風満帆な時だけではありません。時には逆風に悩まされることがあります。いや、そのほうが多いかもしれません。思いがけない災難が降りかかって来て、私たちは立ち往生し、戸惑い、恐れ、絶望します。

しかしイエス様は、いつも私たちに「心安かれ、我なり、恐るな」(27節の文語訳)と語りかけられます。イエス様は私たちを愛していてくださいますから、私たちが悩み苦しむのをそのまま黙って見ていることがおできにならないのです。

イエス様は、私たちの罪のために、ご自分のいのちを十字架の上でお捨てになりました。私たちがこのイエス様を信じれば、罪が赦され、滅びから免れさせられます。そして、内に喜びと平安を持つ者になります。ちょうど、弟子たちがイエス様を船に迎え入れた時、嵐がやんだように。

逆風は吹きます。嵐も来ます。しかし、恐れることはありません。「我なり、恐るな」と語られるイエス様が共におられるからです。十字架でいのちを捨てるほどあなたを愛しておられるイエス様が、あなたのすぐそばにおられるのです。たとえあなたが、どんな状態であっても!

各地の自然災害で被災された方々、戦禍の中にある方々に、心からお見舞い申し上げます。
神様の慰めと助けがありますように、お祈りしております。

阪神クリスマスフェスティバル　入場無料

12/13(金) 18:00開場 18:30開演

「GOSPEL EXPLOSION」
〜届け、良い知らせ!〜

尼崎アルカイックホール・オクト

メッセージゲスト: 神戸 博央(活けるキリスト一麦西宮教会主任牧師・日本福音同盟(JEA)理事)

ミュージックゲスト: Butch Heyward & ハーレム JP クワイア

公式ページ

宝塚栄光教会のクリスマス

クリスマスの心を知って、あなたも神様の愛にふれてください。

12/21(土)

チェロコンサート　15:00〜16:30

毎年毎年、宝塚を忘れずにチェロを背にして来て、演奏をして下さいます。

キャロリング　18:45〜19:15

逆瀬川駅前でクリスマスキャロルを歌います。どなたでも加わって歌ってください。大歓迎です。18:30に教会を出発します。

12/22(日)

クリスマス礼拝　10:30〜11:45

クリスマスが巡ってくる度に、神様の愛を身に覚えて感謝で一杯になります。

キャンドルライトサービス　13:30〜14:30

キャンドルの光の中でささげる礼拝です。闇の中に輝く光として、お生まれくださったキリストを喜ぶ礼拝です。

教会にお越しになれない方も、同時公開ライブ配信を教会のホームページからご覧いただけます。

Question 10　教会によせられた質問にお答えします。

クリスマスは、なぜ12月25日なのですか?

クリスマスは、”キリストのミサ(礼拝)”という意味で、イエス・キリストのお誕生をお祝いする日です。でも、なぜ12月25日なのでしょうか。

クリスマスが12月25日となったのは、ローマ皇帝マルクス・アウレリウス(在位161〜180年)の頃だったとする説が有力です。一年で最も日が短い冬至の日に、この日を境に昼の時間が長くなっていくことを、人々はお祝いしていました。そこから、太陽の光がイエス・キリストに例えられ、私たちの光としてキリストが人となって生まれてくださったことを喜ぶ日となりました。その後、4世紀になると、ローマでこの日をイエス・キリストの誕生日としてお祝いする習慣が定着しました。

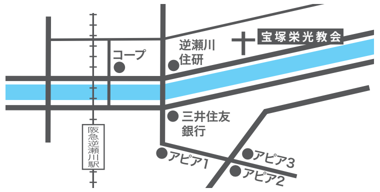
私たちも、私たちの救い主キリストがお生まれになった喜びの日、クリスマスを待ち望みたいと思います。闇が深くなる今、本当の光で照らすことができるのは、イエス・キリストだけです。この方をぜひ知っていただきたいと思います。

Gloryカレンダー発売

Gloryのエッセーと写真とともに、2025年を迎えませんか。神様に祝福された素敵な一年になりますようにとの願いを込めて。一部700円です。購入をご希望の方はご連絡ください。

宝塚栄光教会　牧師:岩間 洋

〒665-0021 宝塚市中州1-15-9　TEL:0797-73-6076
E-mail: info@takara-eikou.com　https://www.takara-eikou.com



礼拝　毎週日曜日 10:30〜11:40

希望のダイヤル(聖書のお話)　0797-77-3746
毎週更新。24時間つながります。
ホームページからも利用できます。
インターネットでも配信中

教会HP　礼拝動画　希望のダイヤル

わたしたちは世界平和統一家庭連合(旧・統一協会)、ものみの塔(エホバの証人)、モルモン教ではなく正統的なプロテスタントのキリスト教会です。お困りの方はご相談ください。

「 ガマズミ 」 ー 里山の木の実 ー

秋も盛りとなった頃　里山の木々の間に
ガマズミの実が　赤く色づいている
ガマズミは　スイカズラ科の落葉低木だ
日本の山野で　ごく普通に見かける木だ
北海道から九州まで　広く分布し
日本の雑木材の代表のようだ

春　桜の花の咲く頃　枝の先に白い小さな花を
円形に　びっしりと咲かせる
特有のにおいのする花に　虫たちが集まってくる
秋になると　真っ赤に熟した実が　たわわに実る
直径5ミリほどの実　これは食べられるが　とても酸味が強い
青森県では　昔　山を歩きまわるマタギたちが
ガマズミの実を食べて　疲れを癒したという

赤い実には　ビタミンCやポリフェノールが豊富にあるのだ
名前の由来は　噛むと酸味があるので
そこから「噛み酢実」が　ガマズミと訛(なま)っていったという
また　木材が固く　鎌(かま)の柄に使われたので「ガマ」
そして　赤い実を　染料にしたことから　「ズミ」となったという説がある

やがて　実りの秋が終わる初冬に　赤い実は
野鳥の食料になっていくのである

大いなる主　限りなく賛美される主
わたしたちの神の都にある　聖なる山は
高く美しく　全地の喜び　北の果ての山
それは　シオンの山　力ある王の都

詩編48編（聖書）